|  |
| --- |
| アイランドキャンパス事業実施計画書 |

**記入例**

|  |  |
| --- | --- |
| 事 　業　 名 | ○○島の新たな着地型観光の方策について |
| 実 施 場 所 | （島　　名）○○島（市町村名）○○市 |
| 実施予定期間 | （令和７年度）　令和７年○月○日（○）～○日（○）（令和８年度）　令和８年○月○日（○）～○日（○） |
| 大学等の名称 | （大学・学部学科等の名称）○○大学○○学部○○学科（専攻・主な研究テーマ）〇〇学，〇〇について（住　所）〒８９０－００６４　鹿児島県鹿児島市鴨池新町７－４（電　話）０９９－２０６－▲△▲△（Ｅメール）ritou@pref.kagoshima.lg.jp（教官名）離島　　一郎（学部長名）鹿児島　太郎 |
| 参加予定人数等（予　　　定） | 教授・講師等（　２　）名 学生等　　　（　５　）名　　　　計　（　７　）名 |
| 事業内容（別紙での記載可） | 概要 | 　近年，観光客数の減少が著しい〇〇島における新たな着地型観光として，○○島ゆかりの□□公の史跡をつなぐ広域観光ルートを開発し，誘客促進を図るために，□□公にまつわる伝統文化や現在の観光地・温泉地なども確認できる手作りの「○○島観光マップ」を作成するとともに，同マップを活用した新しい観光ルートを企画開発し，地元の観光振興に役立てる。　今回の学外活動により，学生達が，島の歴史・文化等を地元住民の方々から学びことで，学内活動では得られない教育効果の向上を図る。 |
| 具体的な進め方 | （令和７年度）観光マップの作成○月　○日（○）市町村役場訪問　　　○日（○）～　○日（○）地域住民からの聞き取り調査　　　○日（○）現地調査，成果取りまとめ　　　○日（○）住民への活動成果の報告，意見交換会／帰路　　（令和８年度）観光マップを活用した新しい観光ルートの企画開発○月　○日（○）市町村役場訪問 　○日（○）～　○日（○）現地調査　　　○日（○）成果取りまとめ　　　○日（○）住民への活動成果の報告，意見交換会／帰路 |
| 専攻分野と事業内容との関係性 | ○○学（○○についての研究）は，○○についての理解を深める学問（研究）であり，この知識（研究）は，観光コンテンツの造成やマーケティングに基づく効果的な観光地のプロモーションといったことに応用することができる。今回の事業では，○○島ゆかりの□□公の史跡等の伝統文化や現在の観光コンテンツの調査を行い，大学で日々研究している○○○○○○などの知識（手法）を活用して，島外に対して訴求力のある「○○島観光マップ」の作成や来訪者の目線に立った新しい観光ルートの企画開発を行うものであり，関係性があると言える。 |
| 事業成果の地元への還元方法（報告書の提出及びワークショップ開催等） | 　令和７年，令和８年の事業実施期間の最終日に，地元住民への活動報告と意見交換会をワークショップ形式で開催するとともに，年度毎に報告書をまとめて，鹿児島県及び○○市町村へ提出する。　また，「○○島観光マップ」を活用したリーフレットを作成し，地元住民及び役場に配布する。 |
| 当該事業における取組の離島での継続的関わり | 　当該事業で作成予定の「〇〇島観光マップ」の更新や，更なる観光ルートの企画開発等，今後も調査研究の場として継続的に活動を行う予定。 |
| これまでの離島における取組実績等（他県での実績も含む） | 令和〇〇年〇月〇〇日～〇〇日　〇〇県〇〇島（〇〇町，〇〇町）　「〇〇島における特産品開発の取組について」の調査・報告 |